

2020年10月 教会行事予定表		
	曜	午 前 午 後
1	木	
2	金	
3	土	掃除当番（太平洋）（ミサはありません）
4	日	ミサ9:30 運営委員会（ミサ後）
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	ミサ10:00 掃除当番（太平洋）
11	日	集会祭儀9:30
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	ミサ10:00 掃除当番（太平洋）
18	日	ミサ9:30
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	ミサ10:00
25	日	集会祭儀9:30 ミニ大掃除の日
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	掃除当番（太平洋）（ミサはありません）

2020年 土曜日のミサのご案内

土曜日10:00ミサ の案内です。○印はミサがあります。×はお休みです。○×は未定です。
 なお、土曜日のミサの参加は地区を問いません。

	9月	10月	11月	12月
第 1	5日 ○	3日 ×	7日 ○	5日 ○
第 2	12日 ○	10日 ○	14日 ○	12日 ○
第 3	19日 ×	17日 ○	21日 ○	19日 ○
第 4	26日 ○	24日 ○	28日 ○×	26日 ○
第 5		31日 ×		

2021 新年のミサのご案内

1月1日（金曜日） 10:00
 1月2日（土曜日） 10:00
 1月3日（日曜日） 10:00



2020
9/13

ひとつになるう

2020年9月13日 カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

カトリック東室蘭教会
CATHOLIC HIGASHIMURORAN CHURCH
〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
0143-44-3851

教皇フランシスコ、2020年8月5日一般謁見演説 連続講話「この世界をいやす」



1.はじめに
 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、おはようございます。

このパンデミックはわたしたちの弱さをあらわにし、深い傷を与え続けています。どの大陸でも、多数の死者と膨大な数の患者が出ています。大勢の人と家族が、社会経済問題のために不安のうちに生活しており、とくに貧しい人が被害を受けています。

だからこそ、わたしたちはイエスをしっかりと見つめ続けなければなりません（ヘブライ12・2参照）。そしてその信仰をもって、イエスご自身がもたらしたみ国に希望（マルコ1・5、マタイ4・17、『カトリック教会のカテキズム』2816参照）をおかなければなりません。いやしと救いの国はわたしたちの間にすでにあります（ルカ10・11参照）。愛のわざによって実現する正義と平和のみ国は、希望と信仰をなお一層強めます（一コリント13・13参照）。キリスト教の伝承において信仰と希望と愛は、意識や姿勢をはるかに超えるものです。それらは、聖霊の恵みによってわたしたちに注がれる徳（『カトリック教会のカテキズム』1812、1813参照）であり、わたしたちをいやし、わたしたち自身をいやし手にするたまもの、さらには、

今日の嵐の中を突き進むときにも、わたしたちの心を新しい地平へと開いてくれるたまものです。

信仰と希望と愛の福音に新たに触れることにより、わたしたちは創造的で刷新された心をもつよう促されます。それによりわたしたちは、身体的、霊的、社会的な弱さの根源を徐々に変えることができるようになります。そして、わたしたちを分裂させ、人間家族とこの地球を脅かしている、不正義に基づく構造と破壊的な行為を根底から改められるようになるのです。

イエスのわざには、多くのいやしの模範が示されています。熱のある人（マルコ1・29－34参照）、重い皮膚病の人（マルコ1・40－45参照）、中風の人（マルコ2・1－12参照）、目の見えない人（マルコ8・22－26、ヨハネ9・1－7参照）、耳が聞こえず舌の回らない人（マルコ7・31－37参照）がイエスによっていやされたとき、実はからだの不自由な部分だけでなく、その人のすべてがいやされました。そして、社会にも参加できるようになります。いやしこと、それはいやしによって、孤立から解き放つことでもあるのです。

ここで、この謁見の冒頭で読まれた、カファルナウムでの中風の人へのいやしをつづった美しい話（マルコ2・1－12参照）について考えましょう。イエスが戸口のあたりで説教しておられると、四人の男が中風の友人を運んできました。大衆に阻まれ、イエスのもとに友人を連れて行くことができなかったのも、彼らは屋根に穴をあけて、イエスの前に床をつり降ろしました。説教しておられたイエスは、目の前に床が降りてくるのをご覧になります。「イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、『子よ、あなたの罪は赦される』と言われた」（5節）。そして目に見えるしるしとしてこう付け加えます。「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」（11節）。

なんと素晴らしいいやしの模範でしょうか。キリストのわざは、人々の信仰、主に託した希望、相互に抱く愛に対する直接的な応答です。イエスはこのようにいやしておられますが、中風という病だけでなく、その人のすべてをいやし、罪をゆるし、中風の人とその友人のいのちを新たにしておられます。いわば、生ま

2020年度第5回運営委員会 議事録

2020年9月6日(日)10:40～11:55

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報 告

3.1 9月、10月の予定

9月	10月
6日(日) 年間第二十三主日 ミサ9:30 ミサ後運営委員会	4日(日) 年間第二十七主日 ミサ9:30 ミサ後運営委員会
13日(日) 年間第二十四主日 集会祭儀 9:30	11日(日) 年間第二十八主日 集会祭儀 9:30
20日(日) 年間第二十五主日 ミサ 9：30	18日(日) 年間第二十九主日 ミサ9:30
27日(日) 年間第二十六主日 集会祭儀 9：30	25日(日) 年間第三十主日 集会祭儀 9:30

3.2 財務報告 2020年8月迄の報告有、現時点では、特に問題なし。

4. 議 事

- 4.1 9月以降の主日のミサ・集会祭儀について
※8月の主日ミサ実績 8／2(日)21人、8／9(日)15人、8／16(日)11人、8／23(日)18人、8／30(日)9人
※土曜日ミサ実績 8/1 18人、8/8 18人、8/15 23人 、8/22 17人、8/29 14人
9月以降の主日のミサ・集会祭儀各地区対応表
(注) a. 2021年3月迄3密規制が解除ならない事を想定して作成。
b. 今回は、この表に従って対応(神父様の名入りでハガキにて案内)

	項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1	ミサ	蘭岳	太平洋	白鳥	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥
第2	集会	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥	楽山	蘭岳	太平洋
第3	ミサ	白鳥	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥	楽山	蘭岳
第4	集会	太平洋	白鳥	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥	楽山
第5	ミサ			ミサ		ミサ		

- ※第5週のミサは、地区の指定はありません。
4.2 剪定伐採した木、枝の処理について
ゴミ処理業者又は資源回収業者に依頼(処理費用確認して決定)
4.3 福岡教区からの豪雨被災地支援について
8月末で募金終了したので、改めて発生した災害に対して支援再検討する
4.4 舗装工事(教会前、駐車場)再見積について
・入口一部拡幅 既存縁石新替え、浸透柵新設等
・既存駐車場は、突起部修復(3か所)、車庫入口部補修
・ホール近傍の花壇全て撤去し舗装実施(見積依頼)
・工事は、11月末迄に終了予定
4.5 その他
※90才以上の高齢者に対するお祝い品について
・前回相当額のお祝い品用意する(女性部長に依頼)
・対象者: Sr. 天野さん Sr. 桜井さん、青坂さん、井戸井さん、寺田さん

5. 司祭の予定

- 5.1 ライヤ師の予定
9/5(土) 追悼ミサ 登別教会 11:30 9/8(火) 北海道カトリック学園園長会議(札幌教区カトリックセンター)
9/18(金) 北海道カトリック学園理事会 (札幌教区カトリックセンター 12:00)
9/19(土) 登別カトリック聖心幼稚園 2020年度運動会 雨天時 9/20(日) 9:30
9/25(金) 祈りの集い 登別教会 13:30
10/13(日) 登別教会 ミサ 10:00, 10/27(日) 登別教会 ミサ 10:00
10/31(土) 札幌教区宣教司牧評議会(札幌カトリックセンター 11:30)
5.2 ミサ・祭儀の予定
9/6 ライヤ師 9/13 集会 9/20 ライヤ師 9/27 集会
10/4 ライヤ師 10/11 集会 10/18 ライヤ師 10/25 集会

れ変わらせたのです。この身体的ないやしと霊的ないやしは、双方とも、個人と社会としてのイエスとの出会いの実りです。イエスのわざにより、この人たちの友情と、家にいたすべての人の信仰が深まった様子を思い浮かべましょう。イエスとのいやしに満ちた出会いです。

ここで自問しましょう。この世界をどのように助け、いやすことができるでしょう。霊魂とからだの医師である主イエスの弟子であるわたしたちは、イエスの「いやしと救いのわざ」(『カトリック教会のカテキズム』1421)を、身体的、社会的、霊的な意味で続けるよう求められています。

教会は、秘跡を通して、キリストのいやしの恵みを実践し、地上のはるか遠いところで医療サービスを提供していますが、このパンデミックの予防や対策の専門家ではありません。ましてや、社会的、政治的な指示をくださすこともありません(『オクトジェジマ・アドヴェニエンス』4、聖パウロ六世、1971年5月14日参照)。それは政府や社会の指導者の役割です。それでも教会は、何世紀もの間、福音の光のもとに、根本的な社会的諸原理を発展させてきました(『教会の社会教説綱要』160-208参照)。それらは、わたしたち

が求める未来に向けて備えるために前進する助けとなる原理です。互いに密接に結びついているそれらの原理のいくつかを挙げてみましょう。人間の尊厳の原理、共通善の原理、貧しい人のための優先的選択の原理、財貨が万人のためにあるという原理、連帯の原理、補完性の原理、わたしたちの共通の家を守ることなどです。これらの原理は、社会の責任を担う指導者たちが、社会の発展を促すための、またこのパンデミックにおいては、個人や社会をいやすための助けとなるでしょう。これらすべての原理は、信仰、希望、愛という徳をさまざまなかたちで表しています。

これから数週間、このパンデミックによって浮かび上がった切迫した問題、とくに社会的な病に、一緒に目を向けましょう。福音、対神徳、そして教会の社会教説に照らして考えましょう。重大な病に苦しむこの世界をいやすために、人間家族が、教会の社会教説をどのように役立てることができるか、一緒に探ってみましょう。希望に満ちたよりよい世界を次世代に向けて築くために、すべての人が、いやし手であるイエスに従う弟子として、ともに考え行動するよう願ってやみません(使徒的勧告『福音の喜び』183、2013年11月24日参照)。

道新の今日のエッセイから 函館生まれの私が懐かしく思い、掲載しました。

女優の樹木希林さんは生前、手元に置く本を100冊と限っていたそうそううだ。それを超える1冊ずつ人に譲り、数を増やさない様にした。「週刊新潮」の8月13・20日号で本棚に残された100冊を紹介していた。

深沢七郎、草野慎平、竹中労、森繁久弥・と個性的な顔ぶれが

並ぶ。

宗教書や古典文学もあり、彼女の頭の中を覗いている様な気がする。

リストで最多の6冊があつたのは函館生まれの作家、長谷川四郎(1909〜87年)。

予期せぬ名前を見つけ、うれしくなった。

ハリストス正教会の鐘の音を聞いて育ち、外国文学に親しむ。長じて大陸に渡り、シベ

リアに抑留された。やつと帰国した40歳すぎから本格的に創作を始めた。

代表作といえば、従軍体験を昇華させた短編「鶴」だろうか。旧ソ連軍と向き合う国境監視哨を舞台に、人間の生と死や広大な風景を飾りのない端正な文章で描いた。戦争文学の名品である。

手掛けたジャンルは幅広い。奇妙な味わいの戯曲、ユーモアがにじむエッセー、そしてブレヒトやロルカの翻訳。どれも魅力的だが、とりわけ味わい深いのが詩だ。ぶっきらぼうな語り口なのに余韻を残す。

例えば「海坊主の歌」の一節はこんな風だ。ハシベリアのツンドラとなると／いやでも聞こえたつけ／三千里の吹く口笛がV

かわいいね！

教会のベルタワー下の花壇に咲いたひまわりです。この花には相応しくない可憐なひまわり。聖体訪問の折に見てやってください。常松さんが育てたのを移植したものです。

